

令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ 23

救急隊員の疲労度の可視化と負担軽減

1. 解決したい課題の内容

令和4年の浜松市における救急件数は41,391件で過去最多となった。救急件数の増加に伴い、救急隊員の活動時間は延伸傾向にある。一方で救急隊員は、当番時には緊張状態が継続するとともに仮眠でも十分な睡眠がとりにくいこと、活動中は高度な状況判断が要求されることから、心身への負荷が大きい。そのような中、救急隊員の交代に対する明確な指標が定まっていないことが課題である。また、非交代時の労務負担をさらに軽減するための対応が必要である。

2. 実現したい目標について

救急隊員の疲労度を可視化し、救急隊員の交代指標（時期）を科学的根拠に基づき明確にしたい。また、指標が明確となった場合、救急隊員の交代要員数を再検討するとともに、消防職員全体への応用が可能か検討したい。

交代乗務が不可能な場合の対応（身体的負担軽減ツール）の導入を検討したい。

3. 必要とする技術について

例えば隊員に器具を取り付ける場合は、隊員の活動の支障とならず、災害出動に際し迅速に装着可能であり耐水性等を有しているものが望ましい。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

疲労度を可視化するための必要な情報の特定

可視化情報による救急隊員の交代指標（時期）の構築

指標による交代、非交代それぞれのアンケート調査の実施

身体的負担軽減ツールの救急現場での活用可否の実証

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

・総務省消防庁「救急隊員の労務管理」

https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/kento215_16_shiryu1.pdf